

株式会社インテージホールディングス

2015年3月期 第2四半期決算説明会資料

2014年11月19日(水)

資料構成

■2015年3月期第2四半期決算の状況

■2015年3月期通期見通し・利益配分

■トピックス

- インテージ・一橋大・新日本スーパーマーケット協会共同「流通・消費・経済指標開発プロジェクト」について
- 米ニールセンとの小売店パネル調査の相互販売パートナーシップ契約について
- メディアコミュニケーション事業の進捗について
インテージグループのDMP「di-PiNK」
- グループヘルスケアについて
「アスクレップ」「メディトライアル」「京都コンステラ」「Plamed Korea」



2015年3月期第2四半期決算の状況

2015年3月期第2四半期決算PLサマリー

予想比では売上高のみ若干の未達だが、前年同期比では増収増益を達成

(百万円)

	13/9実績	14/9実績	前年同期比 増減率	14/9予想 (8/8時点)	予想比 増減率
売上高	18,505	19,338	+4.5%	19,600	-1.3%
営業利益	880	1,317	+49.7%	900	+46.3%
経常利益	811	1,255	+54.6%	770	+63.0%
当期純利益	363	2,085	+473.2%	1,700	+22.6%
EPS (円)	18.09	103.87	—	84.52	—
ROE (%)	2.4	12.2	—		

(注)1. 当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 2015年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

連結貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書サマリー

(百万円)

連結貸借対照表要旨	14/3	14/9	増 減	摘 要
流動資産	21,726	19,889	△1,836	主に「受取手形及び売掛金」の減少
固定資産	12,013	11,723	△290	主に「のれん」の減少
資産合計	33,740	31,613	△2,126	
流動負債	12,681	9,524	△3,157	主に「借入金」の減少
固定負債	3,886	3,341	△545	主に「退職給付に係る負債」の減少
負債合計	16,568	12,865	△3,703	
株主資本	16,497	18,111	1,613	主に「利益剰余金」の増加
その他包括利益累積額	527	504	△23	
少数株主持分	146	132	△13	
純資産合計	17,171	18,747	1,576	
連結キャッシュ・フロー計算書要旨	13/9	14/9	増 減	摘 要
営業キャッシュ・フロー	990	932	△57	「たな卸資産の増加額」および「法人税等の支払額」の増加
投資キャッシュ・フロー	△471	3,305	3,777	主に「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入」が発生したことによる増加
財務キャッシュ・フロー	△544	△4,662	△4,118	主に「借入金の返済による支出」の増加
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	△14	△101	
現金及び現金同等物の増減額	61	△438	△500	
現金及び現金同等物の期首残高	5,906	7,926	2,020	
現金及び現金同等物の期末残高	5,967	7,487	1,519	

セグメント別売上高の状況

(億円)

	13/9実績	14/9実績	前年同期比 増減率
■ 市場調査・コンサルティング	132.2	146.6	+10.8%
(パネル調査)	79.2	83.1	+5.0%
(カスタムリサーチ)	53.0	63.4	+19.6%
■ システムソリューション	23.3	25.0	+7.6%
■ 医薬品開発支援	29.4	21.6	△26.4%
合計	185.0	193.3	+4.5%

- パネル: インテージ(SCI、i-SSP)・JMIRI(処方情報分析サービス)が堅調に推移
- カスタムR: WEBはアンテリオ(ヘルスケア系)は好調だが、全体で見ると伸びは鈍化
一方、既存はCSG・アクセスJPの新規連結効果及び国内案件の売上が増加
- 前期に引き続き、受注機会が増大。特に卸・旅行分野においてリプレイス案件が増加
- 臨床開発事業の分割による純減があるものの、市販後調査領域の売上伸長が大きく貢献

セグメント別営業利益の状況

(億円)

	13/9実績	14/9実績	前年同期比 増減率
■ 市場調査・コンサルティング	9.3	10.9	+17.7%
■ システムソリューション	0.9	2.4	+155.9%
■ 医薬品開発支援	△1.4	△0.2	—
合計	8.8	13.1	+49.7%

- パネル調査の売上拡大に伴い増加
- 中国は事業の再構築が順調に進み、損失縮小
- 好採算案件の受注が好調なため、大幅に良化
- EDCシステムの売上増加が赤字縮小に貢献

EDC(Electronic Data Capturing)システム = 電子的臨床データ収集システム



2015年3月期通期見通し・利益配分

通期業績予想の修正について

単位: 億円 %表示は対前年同期増減率

8/8開示 予想値	売上高		営業利益		経常利益		純利益	
通期	440	+3.5%	32.0	△8.7%	30.0	△11.3%	27.3	+66.2%



単位: 億円 %表示は対前年同期増減率

11/6発表 修正値	売上高		営業利益		経常利益		純利益	
通期	440	+3.5%	36.0	+2.7%	35.0	+3.5%	29.0	+76.6%
8/8開示 計画との差	—	—	+4.0	+12.5%	+5.0	+16.7%	+1.7	+6.2%

■ 欄の%は8/8発表予想値からの増減率

システムソリューション事業および医薬品開発支援事業において好採算案件の受注が好調に推移していることなどから、各利益を上方修正

2015年3月期通期見通し(連結/セグメント別)

(単位:百万円)

		14/3期実績	15/3期予想	対前期比
■ 市場調査・コンサルティング	売上高 (パネル調査)	30,572	34,750	+13.7%
	(カスタムリサーチ)	16,588	17,700	+6.7%
		13,983	17,050	+21.9%
	営業利益	3,021	3,200	+5.9%
■ システムソリューション	売上高	5,661	5,450	△3.7%
	営業利益	489	400	△18.3%
■ 医薬品開発支援	売上高	6,274	3,800	△39.4%
	営業利益	△5	0	—
連 結	売上高	42,508	44,000	+3.5%
	営業利益	3,505	3,600	+2.7%
	経常利益	3,382	3,500	+3.5%
	当期純利益	1,642	2,900	+76.6%

今後3ヵ年の計数計画(連結)

(単位:億円)

	15/3期(予想)	16/3期(予想)	17/3期(予想)
売上高	440	470	520
対前期比	+3.5%	+6.8%	+10.6%
営業利益	36.0	40.0	46.0
対前期比	+2.7%	+11.1%	+15.0%

利益配分

- 当社は、連結業績をベースに、配当と内部留保のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としております。
- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけております。

	1株当たり 期末配当金 (円 銭)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (連結) (%)
13年 3月期	25 00	40.2	3.4
14年 3月期	27 50	33.7	3.4
15年 3月期(予想)	30 00	—	—

当社は、13年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
そのため、13年3月期の配当金額は当該株式分割を考慮した金額を記載しております。



トピックス

第11次中期経営計画



【基本方針】

“リノベーション&イノベーション”
「生活者理解」を最大の武器に、更なる成長加速へ

【原点=行動原則】

**生活者起点、
そして情報への徹底的なこだわり**



第11次中期経営計画【重点課題】

巻き返し

主力事業の再強化による市場価値向上

結実

モバイル&シングルソース、グローバル、ヘルスケア
領域の着実な成長

挑戦&創造

「リサーチ」の枠にとらわれない、新たなビジネスモデル
の模索と確立

加速

最適化の視点による戦略立案・推進のマネジメント
強化

インテージ・一橋大・新日本スーパーマーケット協会共同 「流通・消費・経済指標開発プロジェクト」について

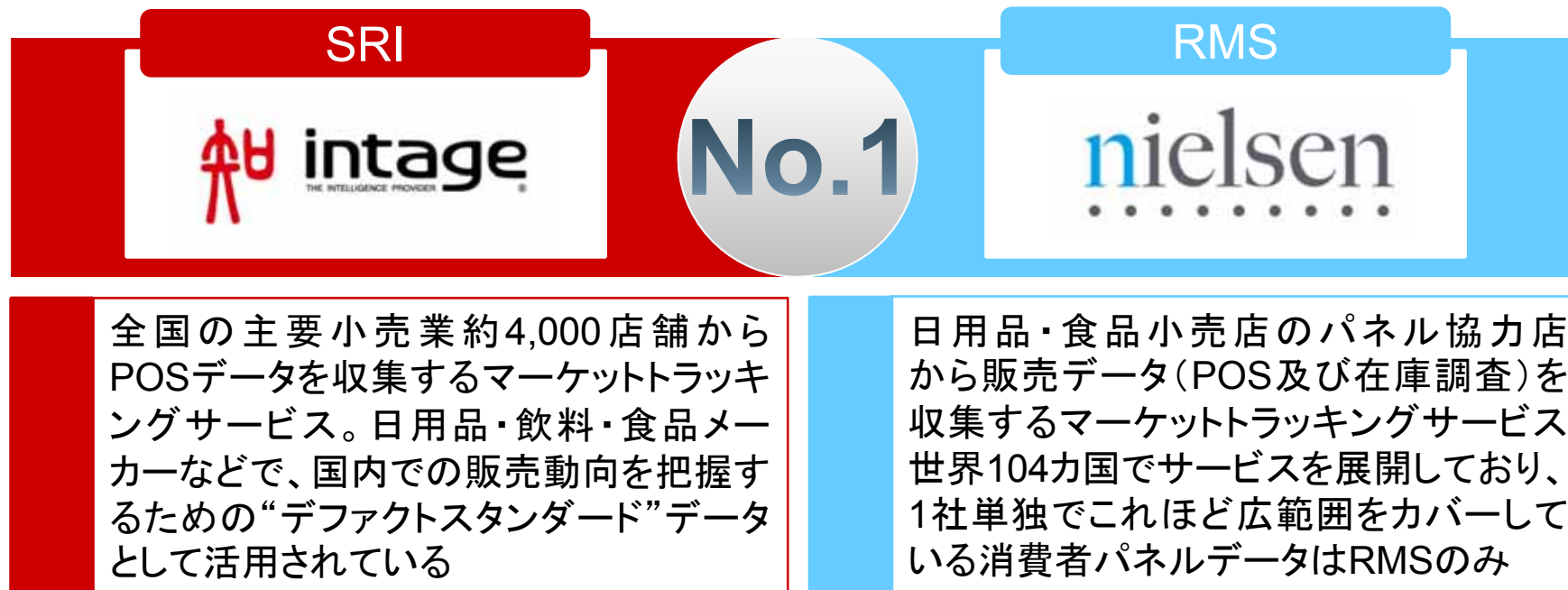


2014.7.10記者会見の様子

- 小売業界から提供される業務データ＝消費者の消費・購買活動
 - 消費・購買行動を「支出」、「購買価格」、「購買数量」に分解・分析して「消費者購買指数」を算出
 - 今まで分析が難しかった「新商品」の投入による経済への影響・効果も分析可能
 - データは週次公開
- <http://www.intage.co.jp/shisuu/archive/index.html>
- 生鮮・惣菜POSデータも11月以降取り込み予定



米ニールセンとの小売店パネル調査の相互販売 パートナーシップ契約について



ニールセンの顧客(日本市場への参入を検討中のグローバル企業)とインテージの顧客(海外進出を検討中の日本企業)へ相互にパネルデータの販売が可能に

メディアコミュニケーション事業の進捗について インテージグループのDMP「di-PiNK」

2014年7月サービスイン



企業が自社で保有するデータに、NTTドコモが保有するデータとインテージのパネル・シングルソースデータ、その他提携パートナーが保有する多様なデータを統合・解析、生活者のインサイトを可視化



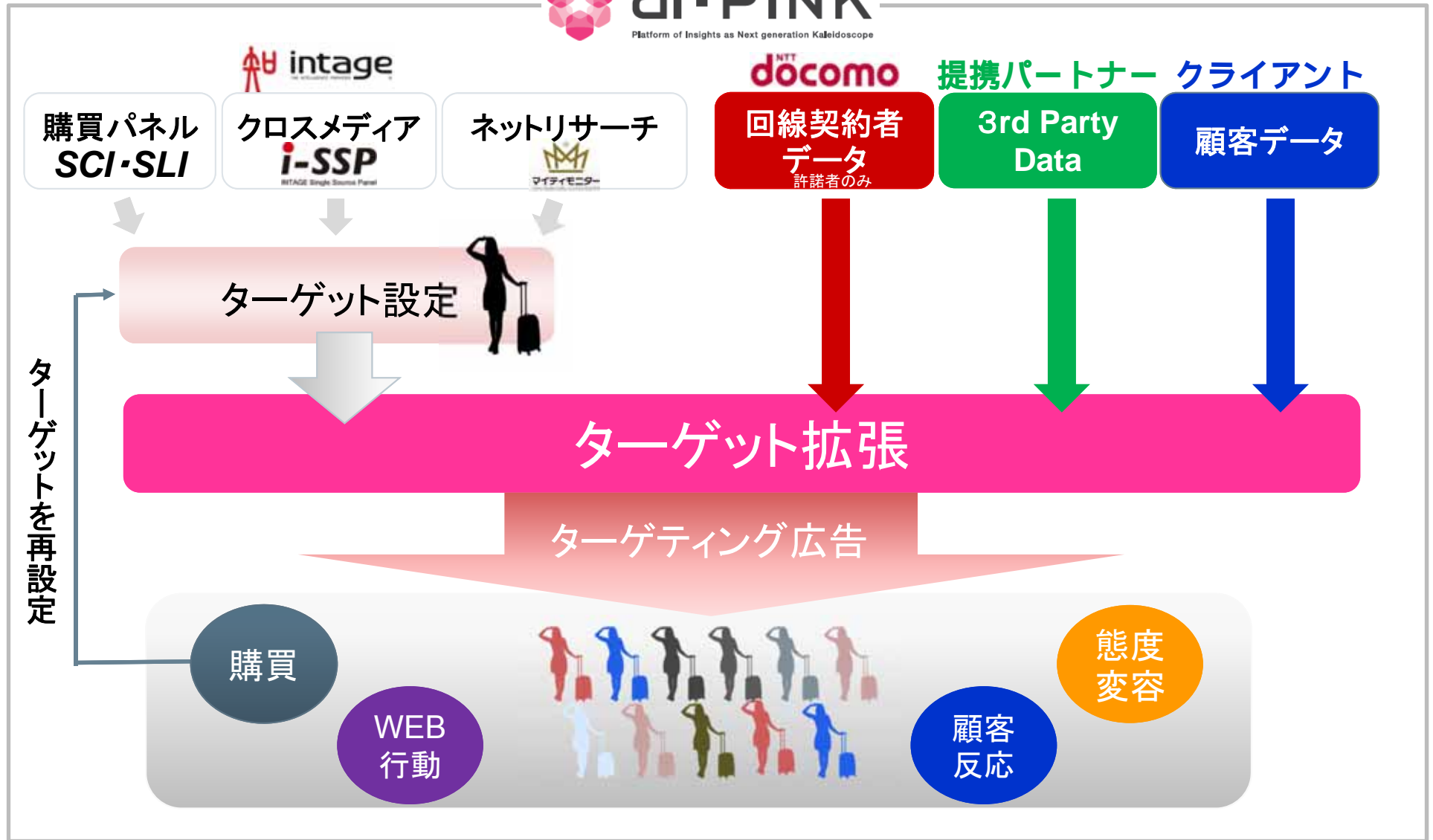
企業のプロモーション活動や商品開発などマーケティング活動を支援

【競合優位性】

- ◆ 多様な生活者データの保有
- ◆ 購買データの活用ノウハウ
- ◆ 50年以上に渡って生活者と向き合った知見
- ◆ NTTドコモとのJV“ドコモ・インサイトマーケティング”と開発

di-PiNK ディーアイピンクは、ドコモ・インサイトマーケティングの登録商標です

「di-PiNK」のプラットフォームイメージ



グループヘルスケアの新たな取り組み「新生アスクレップ」

PMS（市販後調査）領域に特化したデータマネジメント・統計解析・メディカルライティング等を中心に、EDCシステムや進捗管理システムなどのITプラットフォームおよびその活用を支えるBPOサービスを提供

PMS用EDCシステム「ADDIN」の特徴

EDC (Electronic Data Capturing) システム
＝電子的臨床データ収集システム

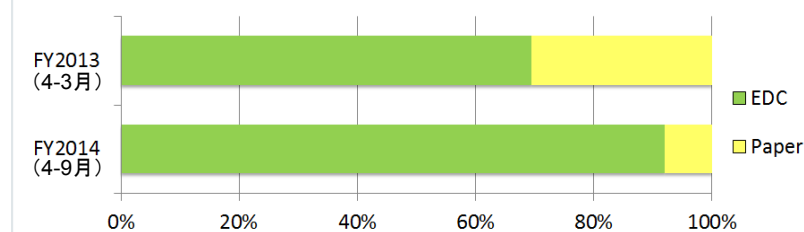
1 医師の負担を軽減する画面設計

2 多彩なDM機能と効率的な処理機能

3 CRO一体型で製薬企業を全面支援

※GCP（臨床試験）領域における事業（DM・統計解析・モニタリング）および関連事業は6/2付で伊藤忠商事への事業譲渡が完了

【アスクレップにおけるEDC化比率】



【ADDINの受託実績の推移】



グループヘルスケアの新たな取り組み「メディトライアル」

- ドコモプレミアクラブ会員に対しアンケート形式で対話を行いながら、商品特長を訴求。知って欲しい、使って欲しい人に詳細情報や試供品をダイレクトに届けるサービス
- 実際の使用者・非使用者に理由&感想、実購買状況などの確認を行い、次のアクションへ活用

大規模リーチ

最大母数

約5000万人

アクティブ
回答者

年々
増加中

約300万人

ドコモプレミアクラブ



詳細なターゲティング

80種類以上の
セグメントパネル

対話による興味喚起
絞り込み

症状啓発
使用リスク回避

複数社で薬事チェックを実施

使用者の声

興味のある人に
更なる商品情報
使用機会の提供

今まで捉えられな
かった事実
(評価・実購買)

試供品特設サイト誘導 & 事後アンケート

医薬品販売業者との連携、試供同意

ブランドサイト誘導

要指導薬・1類医薬品の詳細情報提供

に関するおうかがい

Q1: A0123
Q2: B0456
Q3: C7890

クリック

直接
お届け

「ドコモプレミアクラブ」は、NTTドコモの登録商標です

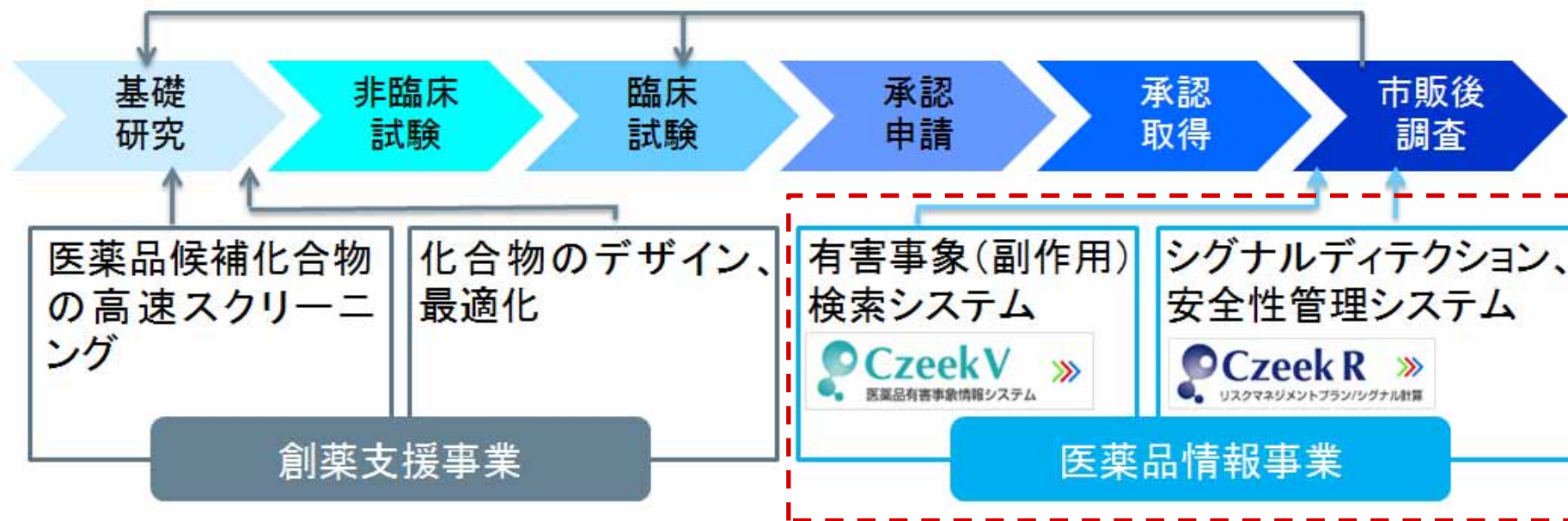
グループヘルスケアの新たな取り組み

京都コンステラ・テクノロジーズとの資本・業務提携契約



京都コンステラ・テクノロジーズ

京都大学発ベンチャーとして2008年3月に設立。京都大学薬学研究科・奥野恭史教授の技術をコア技術とし、製薬企業・研究所の創薬研究支援、医薬品の副作用情報などのデータベース検索システムの開発など、最先端の計算科学技術を用いて独自のサービス・製品を提供。次世代スパコン「京」を活用した創薬研究にも取り組んでいる



グループヘルスケアの新たな取り組み 「Plamed Korea」

アンテリオ(当社連結子会社)

ヘルスケアに特化したマーケティングリサーチ
カンパニー

ドクターアクセスパネル構築のノウハウ
や医療用医薬品向けのリサーチソ
リューションを提供

Hankook Research

韓国の市場調査業界4位、内資の市場調査
会社としてはトップの独立系調査会社

韓国において永年培ってきた市場調査
環境に関する知見やノウハウを提供

◆合併会社の概要

名称 : Plamed Korea Co., Ltd.
設立日 : 2014年9月15日
代表者 : Kyung Hyun Kim
所在地 : 韓国 ソウル特別市
資本金 : 3億5千万 韓国ウォン(51%アンテリオ、49%Hankook)
事業内容 : ドクターアクセスパネルを活用した市場調査、市場調査データの販売

PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

グループヘルスケアの新たな取り組み 「Plamed Asia Panel」

アジア主要3カ国(日・中・韓)における医師パネル『Plamed Asia Panel』による、
ドクターWeb調査サービスを世界中の医療系調査会社へ提供。製薬企業・医療
関連企業の意思決定をスピーディかつ優れたコストパフォーマンスでサポート

医療に特化した
世界中の市場調査会社



Plamed Asia Panel

TOTAL医師数70,000人 30以上の専門領域をカバー

PLAMED Korea

韓国の医師5,000人

プラメド

日本の医師43,000人

INTAGE China

中国の医師23,000人

ドクターWeb調査事業をアジア全域に拡大→アジアNo.1のドクター調査パネルを目指す



株式会社 インテージ ホールディングス

www.intageholdings.co.jp/